

**“清涼飲料自販機の消費電力削減活動 2009年進捗状況”**

**2005年比、総消費電力量27.5%の削減を達成！**

清涼飲料自販機協議会

**清涼飲料自販機協議会は、2008年12月地球温暖化防止対策として、清涼飲料自販機の消費電力削減のための「自主行動計画」を策定し、現在目標達成に向け削減活動に取り組んでいます。**

**取組み1年目である2009年の進捗状況の結果が纏まりましたので、ここに公表します。**

**1. 消費電力量削減の為の「自主行動計画」2009年進捗状況**

清涼飲料自販機業界は、京都議定書に先立つ1991年より清涼飲料自販機の消費電力削減に取り組んでおります。その結果、1991年から2005年の15年間で自販機の総消費電力量を約20%削減致しました。そして2008年12月、新たな消費電力削減の取組みとして「自主行動計画」を策定し、2009年1月より新しい取組みを始めています。

**－2009年清涼飲料自販機総消費電力量削減状況－**

	2005年基準年比 削減率	2012年（短期目標年）比 進捗率
省エネタイプ自販機への入替えによる消費電力削減	24.6%	75.5%
屋内設置自販機の照明、24時間消灯による消費電力削減	2.9%	66.8%
<b>合計</b>	<b>27.5%</b>	<b>74.1%</b>

- ◇ 省エネタイプ自販機への入替えによる消費電力削減効果においては、特に最新省エネ機であるヒートポンプ自販機の予定を上回る投入が消費電力の削減（2005年に比較し24.6%削減）に大きく寄与しました。（2009年までの投入予定108,000台に対し、2.6倍の280,000台が投入されました）
- また、2009年1月より、屋内に設置されている自販機の照明を24時間消灯する活動を展開しています。設置先の了解を得ることにより、屋内に設置されている自販機の66.8%の照明が消灯（24時間）されました。このことにより、2005年に比較し消費電力量を2.9%削減することが出来ました。
- 今後の見通しとしては、短期目標（2012年）の37.1%削減（2005年基準年比）まで、残り9.6%の削減が必要ですが、残り3年間での達成は、更なるヒートポンプ自販機の投入等により、実現可能と考えております。